



富山県支部だより

JAPAN LADIES TENNIS FEDERATION TOYAMA REPORT 2005年 No.13



日本女子テニス連盟富山県支部

<http://jlftoyama.web.infoseek.co.jp/>

忘れられない試合・あの一球

小柴たみ

それは1994年、第16回朝日レディーステニス全国決勝大会のことです。私は熊木香代子さんとペアでNO.2での出場でした。1回戦 徳島、2回戦 京都、3回戦 茨城に勝ってベスト8に入りました。

次の4回戦(準々決勝)は北海道です。勝てば夢のベスト4。永久追放が待っています。1セット3-1リード、熊木さんの絶妙なショットやロブで攻め、私がチャンスボールを決めるというパターンでした。「いい調子」「ナイスロブ」「ナイスショット」の連続で続くゲームもポイントを握り、一本決めれば4-1。ぐっと勝利に近づく・・・そこにチャンスボールが・・・「来た！」センターにボレーをピシッ、「よし決まった」と思った瞬間、返球されそこからずるずる～～。打っても打っても決まらず、4-6ダウン。セカンドセットも粘ったけれど6-7でゲームセット。チームも負けて“夢のベスト4”は消えてしまいました。常に忘れられない一球でした。

時は過ぎ、一昨年、和歌山で開催された「日本スポーツマスターズ」で北海道のNO.2だった江田律子さんと再会したの

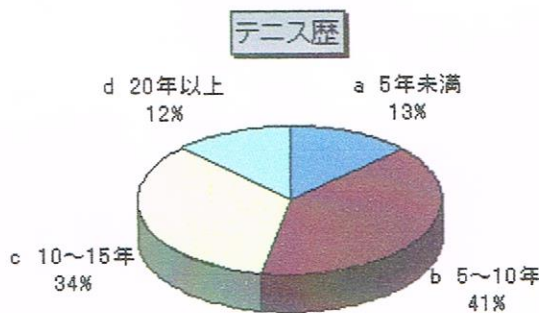
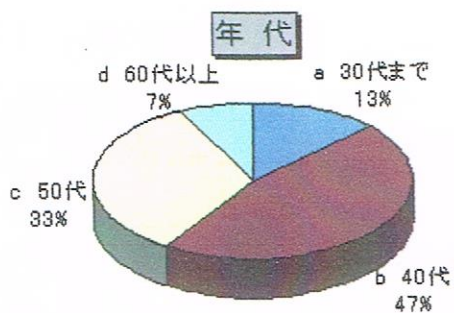
です。彼女もよく覚えていて「テニスっていいネ!ずっと続けていればこんな再会もできるのネ、テニスって最高!」と二人で感激でした。

10年前の写真を見てください。誰か解りますか?みんな若いし、スマート(?)でしょう。

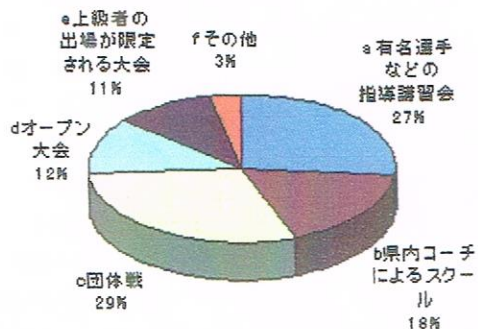
これから10年後も元気でテニスをしていたいものです。そしてテニスの輪をどんどん広げましょう。



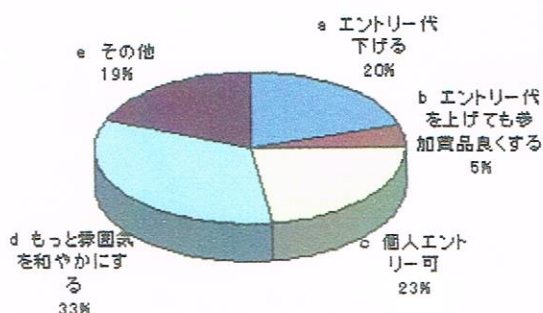
女子連富山県支部アンケートまとめ



希望する大会・事業は



参加者を増やすには～



和やかな
雰囲気
が
大切
みたい
です
ね！！

その他

- ・土日の開催、初心者だけの大会、シングルの大会（年齢別）を希望
- ・毎回の開会式が堅すぎる
- ・多くの会員が喜べるチャンス（抽選会や参加回数に応じて賞品）を！ など貴重なご意見をありがとうございました。

<JLTF 富山県支部アンケート> H16年11月実施 有効回答率 62.4% (156 / 250)

はじめまして・・・

宮本照代 (ジェイフレンズ)

一昨年の8月に福井から引っ越してきました。テニス歴も浅く、試合経験も無いに等しい私ですが、素晴らしいコーチや楽しい仲間たちに恵まれ、すっかりテニスの魅力にはまってしまいました。

10月に初参加したドリーム大会では、雨の中寒さに震えながらも頑張った甲斐あって、後日、女子連のホームページの中で、自分の写真を発見しました！！・・・特設の女子連喫茶室でコーヒーを飲んでいる姿でしたが。(笑) こんな私ですが、いつかは勝者インタビューされる日を夢見て頑張りたいと思いますので、皆さんよろしくお願ひします。



“キッズテニス大会”より

ドリームカップを経て・・・

宇野玲子 (東西砺波)

この試合は自分の中で何か一つ克服できてそしてそれが確認できたような試合になりました。優勝した時は、晴れ晴れとした清々しい気持ちでいっぱいでした。

富山に来て、昨年、初めて女子連デビューを果たし初日から服装の事でお叱りを受けやっぱり女子連はこわいんだ、と思いましたが、今ではそういう方々のお陰で女子連の質が向上するものだと感じています。

富山の試合ではいつも風が吹いていてその中で当たり前のようにそして静かに？やっている皆さんに感心しました。私は今年の春頃から色んな事で悩み始め、泣いた事もありましたがそれがたまたまドリーム直前にふっきて試合に挑む事が出来ました。当日は雨でボールも重たくて決まりにくかったりしましたがなんと言っても風がなかった事が私には幸いしました。そしてペアの人とお互いの良いところを出し合おうまくやれた事が優勝に繋がったのだと思います。ペアの水上さんに感謝です。この感動を胸に次に向かって自分のテニスの質を上げ、風の中でも(床でも?)楽しみたいと思います。

最後に、富山に来てテニスをしていてよかったと思いました。そのお陰で皆さんに会うことが出来たのですから一。

ベストドレッサー賞受賞に寄せて



高浪亮子(ラルゴ)

なかなか試合では勝てない。衣装で賞をもらえる大会があると聞き、洋裁には少々自信がある私は飛びついた。ペアを組んでくれるK子さんも、手作り大好きということで、共同制作が始まった。メールで打ち合わせすること数回、ピンクリボンにちなみ、色はピンク、胸にはピンクの刺繍の花、腰には大きなピンクのリボンをひらめかせ、テニスコートを一歩出れば、あちこちから石が飛んできそうなかわいい衣装に出来上がりました。当日、皆様からたくさんの拍手をいただき、みごとドレッサー賞を獲得！ありがとうございました。

さて、試合の方はあえなくサクラ散る。来年も皆様のご期待に添う衣装を、がんばります。いえ、試合に勝てるよう、がんばります。

ピンクリボン全国大会

米澤恵美子(魚津市TA)

鶴瀬由美子(魚津市TA)

初めての全国大会！ドキドキ、ワクワクしながら会場を見渡すとどの県の人達もとても強そうに見えます。

出だし一本目…入った！相手は奈良県。

先に戦った50代を応援しながらも緊張が…。

対戦相手の奈良県代表も緊張からか静止して観ていることができないみたい。50年代代表達の負けたくない気持ちが伝わってくる。・・・が、善戦むなしく負けてしまい、次は私達！応援を背に受けながらも競ったのは中盤まで。雰囲気にもまれ、0-2と敗退してしまいました。個人戦にまわると少しずつリラックスして楽しいテニスができました。その結果、個人戦はベスト8。

大会二日目、飛行機の時間を気にしながら、ぎりぎりまで他県の人達の試合を観戦し、とても大きな刺激を受けました。この感動を忘れず、今後のテニスに活かせたらと思います。

最後に、関係者の皆様、応援ありがとうございました。

年間コメント大賞

二人の愛で勝ちました。
ダブルスは愛！
楽しかったです

宇野さん、水上さん



全国レディース全国決勝大会

高橋好江(グリーンテニス)

初めて全国レディースに出場してから8年。

初めての時はまだズボンの裾が締まっていた時代。あの頃は若さと勢いだけで戦っていたことが思い出されます。

年数が経つにつれて、この試合の重みや大切さがしみじみと分かるようになり、富山県という名を背負って全国へ行きたいと思いました。今回は県予選で全ての試合で苦戦！しかし同じ目標を持ったパートナーと一戦一戦大切に戦い、全国大会の切符を手にすることができました。

今回は監督なし、しかも私がキャプテンを兼ねることになり、いざ！東京へ。そこには心配してくれたのか、富山からたくさん駆けつけてくださり、心強い応援をいただきました。

私はレディース5年の休みに入りますが、このスゴイ緊張感を味わいたいので今後も頑張りたいと思います。

チームのメンバー、パートナー、そして応援して下さった皆様、ありがとうございました。

第16回北信越レディーステニス決勝大会に参加して

黒越純子(グリーンテニス)

苦しかった県予選。終わってみれば長野での決勝大会に出られることになりました。パートナーの叱咤激励のおかげ！

北信越レディース決勝大会は、県としての団体戦ですが、気分は自分自身の個人戦。なんとしても頑張らねば！

初日は石川県、長野県と。苦しくても辛くても(2戦目はタイブレークでした)終わってみればあっという間のこのようです。夜は懇親会です。30代ペアの厳しい特訓のおかげで我が富山県が一番かわいかったと思える出来です。夜の部は優勝です。

二日目、新潟、福井との試合。皆々様の応援のおかげでこの日も泣きながらなんとか終了。4試合とも神がかり的に勝つことができました。

「テニスって、自分一人じゃないなあー。パートナーとか仲間とか、みんなで盛り上がって楽しめるんだなあ」とあらためて実感して帰ってきました。

貴重な経験をさせてもらいました。ありがとうございました。

気ままテニス川柳

眠る子の愛しさ募るコートサイド



渾身の力をこめてサーブ打つ



その人に聞く

勢濃 敏子



<プロフィール>

テニス歴:45年 テニス指導歴:30年 血液型:A型
趣味:ゴルフ(コース1年に5~6回、テニスは左きき、でもゴルフは右きき)
家族:愛犬キョンちゃんのご主人様

自己分析:相手へ苦言を呈するときは思いやりをもって。

気配り人間。出身:兵庫県

<夢>1年でも長くコート上でプレイしたい。

<長く続けるコツ>ほどよい練習量を心がける。

<ワンランクアップ・アドバイス>

- ・ ボールがラケットから離れる瞬間までボールを見ること
- ・ 集中力の持続(その集中力は満腹状態では難しいことをお忘れなく!)

<会員へのメッセージ>

勝ち負けにこだわらず、試合を楽しむ気持ちを持ってほしい。

<テニス人生で印象に残ったひとコマ>

リハビリ後の熊木さんと組んで、石川県での年代別の試合に出場した際、2-6から引っぱり返して8-6で勝った事。

(ロブを右手も使い、拾いまくったそうです)

熊木さんとは本当に沢山、楽しい思いをさせて頂き、感謝していますとのこと。

<インタビューの印象>

サプリメントでビタミン剤等を常用し、定期的に整体にも通い、ご自身の体を大切にいらっしゃる勢濃コーチの御年を聞いてびっくり。

シニアには90歳過ぎても現役でプレイする方がいらっしやると聞いて二度びっくり。テニスを長く続けたいという夢に向かって、果敢に挑戦していただき、私たちのモデルになってくださいね。(インタビューア 余川)



ありがとう!!

支部長 最上久美子

富山県支部では、競技としてのテニスと生涯スポーツとしてのテニスの両輪に加え、ジュニアの育成にも力を注いでいますが、これがまた大変です。暑い夏休みになると、どっと押し寄せてきます。でもこの子ども達が将来、大きく育って羽ばたいてくれることを楽しみに夢んでいます。このように会員数の割には、随分と大会数が多いため常務理事が頑張っていますが、どうしても頑張りが足りない所もあり各サークルの皆さんに派遣をお願いし協力、そして女子連への理解を深めてほしいとやってまいりました。お陰様で随分と皆様に浸透して、協力を惜しまず快く参加して頂けるようになった事を心より感謝申し上げます。私も年のせいでしょうか、1年の経つのがとっても早く感じられますが、会員相互が楽しく交流でき、技術の向上、底辺の拡充ができるよう、これからも精一杯の努力をして忙しい中にも充実した日々を過ごさせて頂いている喜びを感じながら、女子連の楽しさを大切に着実に歩み続けて行けることを願っています。

いよいよ充実! web情報 JLTf 富山県支部

HP アドレス

<http://jltftoyama.web.infoseek.co.jp/>

eメール toyamajltf@yahoo.co.jp

携帯掲示板 <http://ktako.jp/T-JLTF>

編集後記

アンケートを集計して個人エントリーや団体戦を望む声が予想以上に多いと感じました。またHPの書き込みが少ないのも「見てるだけで十分」が多いのに納得するものがあります。さて、HPの立ち上げ、大会レポート、支部だよりの編集と皆様のお力を支えに好き放題にやらせていただいた2年間でした。心より感謝申し上げます。何はともあれ「楽しく豊かなテニスライフを! 乾杯!!」(木下)



全国レディース全国決勝大会出場メンバー